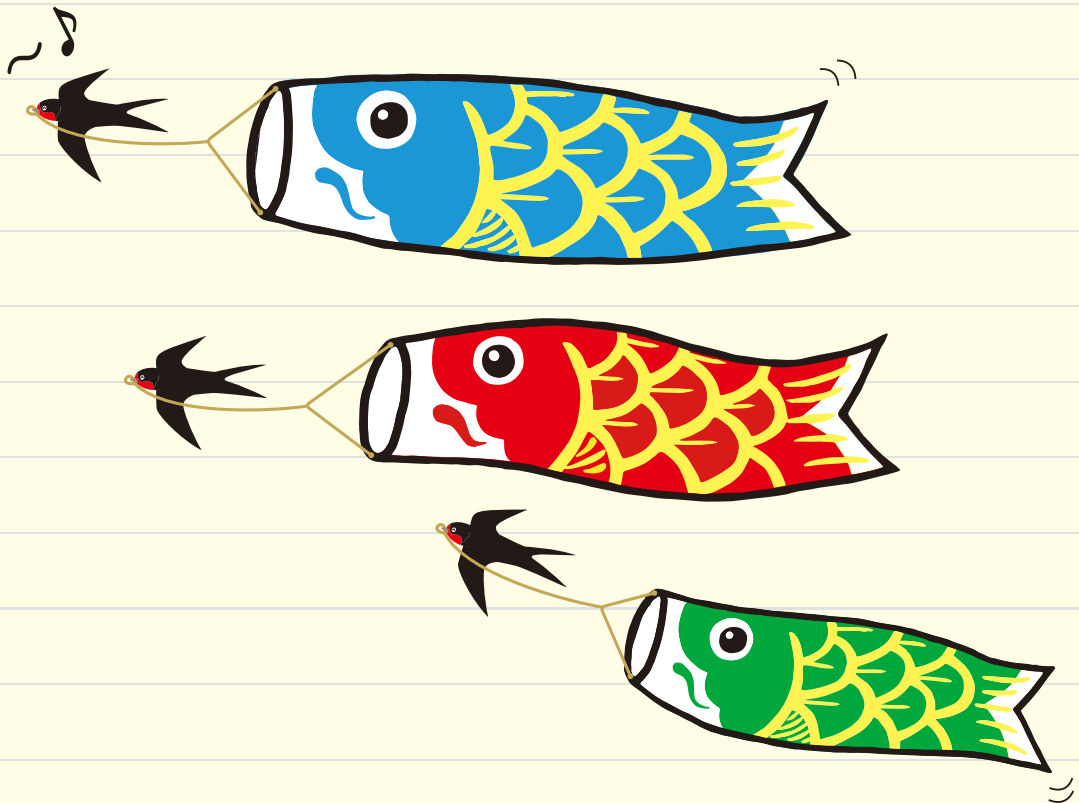


議会が **グッと** 近くなる 発行 2014年 5月1日 No.34
つばめ市議会 ノートブック



注 目 新規事業

ギカイハ・ココニ・チュウモリ

平成 26 年度予算編成の 6 つの柱

- 1 新しい活力を創造するまち
- 2 未来の燕を担う子どもたちを育むまち
- 3 生きがいとやさしさを実感できるまち
- 4 快適で住みやすく、愛着を感じるまち
- 5 利便性が高く、にぎわいを創るまち
- 6 市民とともに築くまち

にぎわいを創る

高 速バス乗場駐車場整備事業 1 億 3,000 万円 (土木課)

路上駐車減少を図るため、高速バスの新潟市方面乗場側に専用駐車場が整備されます。

本 町排水区管渠施設改築更新事業 (長寿命化) 2,300 万円 (下水道課)

本町排水区の下水道管の老朽化による道路陥没を防止するため、長寿命化計画に基づいて、布設後 40 年以上経過している下水道管改修の設計が実施されます。

その他

県 央大橋西詰周辺地域整備基本計画 策定事業(仮称) 1,026 万円 (企画財政課)

県央大橋西詰周辺地域の観光交流拠点のあり方を検討し、周辺施設の連携を図るためのエリア整備基本計画が策定されます。



新しい活力を

つばめ東京オリンピックプロジェクト 191 万円 (商工振興課)

2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、産地としての貢献、また開催を契機に世界に向けて燕ブランドを発信していくため、市内関係団体と協働による事業が展開されます。

多 面的機能支払交付金事業 7,376 万 6 千円 (農政課)

農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動に対し、支援が行われます。
●農地維持支払…多面的機能を支える共同活動を支援
●資源向上支払…地域資源(水路・農道等)の質的向上や施設の長寿命化に対する活動を支援

燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン 策定事業 15 万円 (企画財政課)

燕・弥彦地域の魅力をさらに高めるため、観光振興や公共交通の連携強化など、交流人口の拡大を図るためのビジョンが策定されます。



燕 市ものづくり品質管理制度(TSO) 運営事業 1,816 万 6 千円 (商工振興課)

燕商工会議所が行ってきた地域版品質管理認証制度(TSO)を市に移管することにより、市内全事業所を対象に実施されます。

TSO…Tsubame Standard Organization



平成 26 年度
予算総額 **590 億 487 万円**
一般会計 385 億 3,700 万円 特別会計 204 億 6,787 万円

平成 26 年第 1 回定例会は 3 月 6 日～ 20 日の会期で開催。平成 26 年度予算を中心に審議しました。
26 年度に予定されている 44 の新規事業のうち、議会が注目した事業をピックアップしました。

平成 26 年度の全会計当初予算額

一 般 会 計		385 億 3,700 万円 (357 億 5,831 万円)
特 別 会 計	国民健康保険	83 億 2,064 万円
	後期高齢者医療	6 億 8,737 万円
	介護保険事業	75 億 9,591 万円
	公共下水道事業	37 億 6,736 万円
	土地取得	9,523 万円
	企業団地造成事業	134 万円
温泉保養センター		廃止します
水 道 事 業 会 計		23 億 432 万円
合 計		590 億 487 万円 (562 億 2,619 万円)

※ () は借換債を除いた実質的な予算額。

※ 万円未満を切り捨てて記載してあるため、合計額と一致しない場合があります。

生きがいとやさしさ

健 康づくりマイストーリー運動 339 万 5 千円 (健康づくり課)

元気で生き生きとした人生を過ごすために「いつでも・どこでも・だれとでも・気軽に・自分らしく・自分のペースで・自分に合った」健康づくりに取り組む「健康づくりマイストーリー運動」が実施されます。

障 がい者基幹相談支援センター機能 強化事業 2,660 万円 (社会福祉課)

福祉総合相談支援体制の推進に向けた第一段階として、民間から専門職を迎え入れ「燕市障がい者基幹相談支援センター」を設置し、相談支援専門員が増員されます。



認 知症対策等総合支援事業 650 万円 (長寿福祉課)

医療・介護及び生活支援サービスや地域の支援機関等のネットワークを形成し、地域における支援体制を構築するための認知症地域支援推進員が配置されます。



生 活困窮者自立支援事業 373 万 3 千円 (社会福祉課)

生活困窮者の包括的な支援等、一般就労に向けた生活習慣の確立、社会参加能力の形成、就労体験の支援が実施されます。



市民とともに

ふるさと燕応援事業 30 万円 (総務課)

市外からの寄附者(ふるさと納税)に、お礼として市特産品をプレゼントすることで、燕の魅力発信を新たに展開し、交流・応援人口の拡大が図られます。

子どもたちを育むまち

燕 西こども園整備事業(仮称) 6,774 万 2 千円 (子育て支援課) (事業期間 平成 26 年～ 27 年)

燕西幼稚園と燕保育園を統合して(仮称)燕西こども園に整備。用地購入・園舎建築設計業務委託・地質調査が実施されます。

病 児・病後児保育 運営事業 1,821 万 7 千円 (子育て支援課)

市内小児科医院に併設した保育施設において、病気の児童を一時的に保育する病児・病後児保育事業の運営が 4 月から始まります。



住みやすいまち

高 齢者運転免許自主返納推進事業 160 万円 (生活環境課)

高齢者の交通事故防止対策として、運転免許を自主返納した満 65 歳以上の方に、公共交通手段の利用券が進呈されます。



小 型家電リサイクル推進事業 (実証実験) 73 万 1 千円 (生活環境課)

埋め立て等により廃棄処分されている「携帯電話」「デジカメ」などの小型家電をゴミから資源とするため、障がい者福祉施設と連携し、ゴミの減量化・有用金属の再資源化が図られます。

審査 当初予算案

歳入

- 問** 病児・病後児保育事業（943万3000円）の体制はどうなるのか。
- 答** 1日当たり定員8人とし、利用者は、年間1000人（1日4人程度）と見込んでいる。
- 看護師は併設する小児科の看護師が兼務で対応し、子ども3人につき1人の保育士の配置を考えている。



- 問** 市税滞納繰越額について、新年度に時効を迎えるのは。
- 答** 個人市民税2911万円
法人市民税64万3千円
固定資産税5593万円
軽自動車税28万円
- 問** 消費税引き上げの影響を見込んでいるのか。また、新年度の予算における影響額は幾らと試算しているのか。
- 答** 当初予算では、使用料・手数料額の値上げ分は考えておらず、年度中に今後の対応を考えていきたい。
- 消費税増税の影響は、約4億円と試算している。

商工費

- 商工業の振興や、地域の観光を発信することなどに使われるお金です。
- 問** つばめ東京オリンピックプロジェクト191万円について、どのような事業を実施するのか。
- 答** ワーキンググループ等の委員会の立ち上げを検討している。
- 問** ものづくり品質管理制度運営事業1816万6000円について、燕商工会議所が行っていたT・S・O事業が、市の事業として行われることになるのか。
- 答** 燕商工会議所で行っていたT・S・O事業を市の事業として行う。
- また歳出予算のうち1238万円を参加企業による負担金として歳入に計上している。

教育費

- 小中学校や生涯学習、スポーツ事業の運営のために使われるお金です。
- 問** 埋蔵文化財発掘調査業務委託料2764万8000円について、どこかの調査を行うのか。
- 答** 分水地区宝崎遺跡と吉田本町地区で、遺跡を保存するための調査を行う。
- 問** スポーツエキスパート活用事業56万5000円について、どのような事業なのか。



- 答** 県の補助事業であるが、外部講師を運動部に派遣し、部活動の外部指導者として活用する。

民生費

- 児童・高齢者・障がい者などの福祉施設整備や運営、生活保護などに使われるお金です。
- 問** 燕市シルバー人材センタ―補助金2090万円は、職員への補助なのか、業務に対する補助なのか。
- 答** 臨時職員を含めた職員6人分の人件費である。

- 問** 生活困窮者自立支援事業373万3000円について詳細を伺う。
- 答** 生活保護に至る前の生活困窮者支援の窓口がなかったことから、その支援体制構築のための事業であり、国・県から全額が補助金で賄われるモデル事業である。

総務費

まちづくり事業や選挙にかかる費用、庁舎の維持管理などに使われるお金です。

- 問** つばめ若者会議事業375万1000円について、新年度はどのように取り組んでいくのか伺う。
- 答** 新年度はアクシオンプランを実施していくという流れになっている。9つのチームに分かれて作成したアクシオンプランを発表して、そのプランに共感し、協力したいという市民の方と一緒に取り組んでいける形にしたい。また、それ以外にも多くのプランができて面白いと考えていて、そういった輪が広がるためにも、また他の団体とのかわりにも事務局は積極的に取り組んでいきたい。
- 問** 会議運営等委託料346万4000円は、事業者に支払うものなのか、つばめ若者会議のメンバーに支払われるものなのか。また、何回の会議等を行うのか。
- 答** 事業者に支払われるものだが、会議運営以外にもつばめ若者会議メンバーの活動の相談なども含まれている。全体会議等を7回、オンライン会議を4回、そのほか発表会等を考えている。

（仮称）県央大橋西詰周辺地域整備基本計画策定業務委託料1000万円について、基本計画をつくる必要性は。

- 答** どのように取り組んでいくのかの指針として必要であり、今後、補助金を受け取る際にもしっかりと計画が必要である。



農林水産業費

主に農業振興のため、農地整備や農道の改良などに使われるお金です。

- 問** 農業担い手育成事業113万円について、どのような事業を行うのか。
- 答** 担い手育成活動補助金として、市内旧3市町の担い手協議会に助成している。
- 問** 村づくり交付金事業6988万円について、どのような事業なのか。
- 答** 国上連絡道200メートル、集落道700メートルの整備を予定している。

衛生費

市民の健康の維持増進やゴミの収集など、環境衛生に使われます。

- 問** 霊園等管理費の工事請負費360万円の詳細は。
- 答** 吉田墓地公園内の通路が水浸しになるため、排水対策を行いたい。
- 問** 個別予防接種委託料1億6088万6000円について、昨年度対比6000万円ほどの増加となっているが、その理由は。
- 答** 消費税の増加分と、ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチンが個別予防接種に加えられたことにより増加した。

土木費

道路改修などの土木工事や除雪、市営住宅の管理運営などに使われるお金です。

- 問** 公共下水道受益者負担金60万円の詳細は。
- 答** 南吉田駅前団地、吉田文京団地の公共下水道が整備されたため、受益者負担金を計上した。



おぢや震災ミュージアム「そなえ館」

問 災害はいつ起こるか分からない。突然、思ってもいないところに発生するのが、地震災害である。災害を想定して自助・共助の事前の備えをすることで、災害を軽減することができると思うが、備えについての考えを伺う。

答 災害を最小限に食い止めるため自助・共助は重要であり、防災リーダー養成講座でも意識啓発し、それぞれの活動をサポートしていきたい。

災害を想定した自助・共助の備えを！



渡邊雄三 議員(公明党)

問 自助のために、防災シェルターや防災ベッド、転倒防止器具購入の補助はできないか。

答 転倒防止器具は個人対応である。シェルターやベッドは、取り組んでいる他自治体を勉強したい。

問 平成26年度から始まる小型家電リサイクル事業は、どのように進めていくのか。

答 小型家電リサイクルは、障がい者福祉施設との連携を軸に検討する。市内の家電量販店や市役所に回収ボックスを設置するなどして、平成26年度に入って準備が整ったら実証実験を行いたい。

問 PM2.5の濃度が国の環境基準を超えたときの行政の対応は、どのようなになっているのか。

答 防災無線などの広報媒体を活用して周知し、今後は、市のホームページにも掲載したい。

18名の議員が聞いた！

一般質問

3月議会では、18名の議員が質問に立ちました。全質問項目は下記のとおりです。7ページからの本文は、質問をした議員本人が要約して執筆しています。

7p 渡邊雄三 議員 (公明党)

1. 地域防災について
2. 環境問題について

7p 田辺 博 議員 (無所属)

1. 教育について
2. 福祉について

8p 樋浦恵美 議員 (公明党)

1. 安心して暮らせるまちづくりについて
2. 男女共同参画の推進について

8p 本多了一 議員 (日本共産党)

1. 市長の政治姿勢について
2. 市民要求への対応について
3. 農政について

9p 中島清一 議員 (旭日会)

1. 防災・減災対策について
2. 老朽化対策について
3. 東京オリンピックプロジェクトについて
4. ふるさと燕応援事業について
5. 教育問題について

9p 埴 豊 議員 (旭日会)

1. 平成26年度予算について
2. 土地取得特別会計、企業団地造成事業特別会計について
3. 教育問題について

10p 土田 昇 議員 (日本共産党)

1. 柏崎・刈羽原発について
2. ガス事業譲渡清算金活用基金(吉田地区)について

10p 小林由明 議員 (旭日会)

1. 市街地の活性化について
2. 防災・救急への取り組みによる、住民交流の活性化について
3. 全世代で取り組む、住みよいまちの実現について

11p 齋藤信行 議員 (大河の会)

1. ひきこもりの支援体制について
2. 燕市の表玄関と観光交流拠点について
3. 川の駅について

11p 長井由喜雄 議員 (日本共産党)

1. 子どもの医療費助成の拡大について
2. 国民健康保険税引き上げ中止について
3. 国による介護保険制度の後退について
4. 子ども・子育て新支援制度について

12p 大原伊一 議員 (旭日会)

1. 新庁舎となつての庁舎管理について
2. 今後の財政運営の課題について
3. 農業政策について

12p 大岩 勉 議員 (旭日会)

1. 公共工事発注状況について
2. 学校教育指導について
3. スクールサポーター制度について

一般質問の全文は、各図書館などに置いてある議事録や、インターネット(市議会ホームページ内の「会議録検索」)で閲覧することができます。

13p 渡邊広宣 議員 (鴻鵠クラブ)

1. 財政計画について
2. 新年度予算について
3. 燕市の産業について
4. 職員の実態について
5. 農業政策について

13p タナカ・キン 議員 (無所属)

1. つばめ若者会議について
2. 子宮頸がんワクチン接種について
3. 分水庁舎解体工事について
4. LED照明設備導入設置費補助金事業について

14p 丸山吉朗 議員 (大河の会)

1. 教育行政について
2. 指定管理について
3. 空き家対策について

14p 山崎雅男 議員 (旭日会)

1. 高速バス乗場駐車場整備について
2. 燕市吉田トレーニングセンター(ビジョンよしだ)について
3. 農業問題について
4. 中学校部活動の取り組みについて

15p 齋藤紀美江 議員 (旭日会)

1. 防災対策について
2. 旧吉田庁舎の利活用について
3. 男女共同参画の取り組みについて

15p 阿部健二 議員 (無所属)

1. 市政について
2. 人権について

いじめ防止対策に努力を



田辺 博 議員(無所属)

問 いじめ防止対策推進法が施行され、学校がいじめに対して迅速に対応することが義務づけられた。いじめは犯罪という言葉が常識化している。家庭と連絡を密にし、いじめ防止教育を徹底してもらうことで加害者が出ないのではないかと。被害者も加害者も将来ある子どもであり、両者をなくすために、今一步努力すべきと思うがいかがか。

答 現在学校ごとに、いじめ防止基本方針を策定している。地域・保護者との連携を一層図り、これまで以上に家庭との対話に努める。

問 燕市では施設入所待機者が500人以上いる。住みなれた所で一生を過ごすことができれば最高の幸せだと思うが、燕市では入所施設が足りていない。県立武道館を誘致した旧燕工業高校があるが、膨大な土地建物であり、ここに3障がい者が入所できる施設をつくるべきと思うが。

答 譲渡を受けた契約書の規定で、10年間は埋蔵文化財の保管場所や体育施設として使用する用途が指定されており、用途の指定解除ができないかと県と協議を重ねている。用途指定が解除となった時には、福祉施設をはじめ、あらゆる角度から活用策を検討していく。



旧燕工業高校跡地

東京五輪の選手村に燕市の製品を

問 開催が決まった瞬間、燕市としてこのオリンピックに貢献できるのではないかと感じた。オール燕として一丸となつて取り組むことで、産地の技術力や品質の良さを幅広く発信できるのではないかという思いで、いち早

答 開催が決まった瞬間、燕市としてこのオリンピックに貢献できるのではないかと感じた。オール燕として一丸となつて取り組むことで、産地の技術力や品質の良さを幅広く発信できるのではないかという思いで、いち早



中島清一 議員(旭日会)



燕市製品

問 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まった。直後に市長は、選手村で本市特産の洋食器や厨房用品を使つてもらうことを目指し、プロジェクトの設立を提案されたと聞いている。これまでの市長の取り組みを伺いたい。

答 平成26年度は、西部学校給食センター・旧吉田庁舎・旧燕市庁舎・旧吉田庁舎・吉田公民館・分水消防署など10施設の改修を計画している。

魅力ある授業を目指して



埴 豊 議員(旭日会)

問 学力向上の基本は、教師と生徒の信頼関係にあると考えている。生徒たちの信頼なくして、学力の向上はないと考えるが、教育委員会の考えを伺いたい。



小池小学校

答 生徒が教師を信頼する一番の要因は、授業にあると考えている。「この先生はいい人だ」とか言うのではなく、すばらしい授業をするのが肝心である。授業改善に取り組む、魅力ある授業を目指し、一層努力をしていきたいと考えている。

障がい者基幹相談支援センターの業務は

問 平成26年度から健康福祉部の中に障がい者基幹相談支援センターが新設されるが、どのような業務を行っていくのか。



樋浦恵美 議員(公明党)

答 燕市では、4つの民間の相談支援事業所と福祉課で、障がい福祉サービスに関する相談や日常生活支援に関する相談などを受けている。相談件数や困難かつ重層事例の増加により、どの事業所も適切に相談が受けられない状況にある。そのため、各種専門機関とのネットワークづくりなどが喫緊の課題となっている。こうした課題に対応すべく、相談支援員と民間事業所から相談支援の専門職員を迎え入れ、燕市の障がい福祉の相談支援体制の強化に努めていく。

なり、今後も引き続き保育環境の充実に取り組みしていきたい。再就職への支援については、ハローワークでの職業訓練などの情報提供に加え、起業を支援する取り組みを行う「みらい起業塾」を開講し、多くの女性の方が受講している。



平成24年3月に策定されました

こわい！ 特定秘密保護法

問 特定秘密保護法の廃止を求める地方議会の決議や意見書が100自治体以上と言われる。この法律は法案提出からわずか1カ月余りで、審議時間は衆参両院合わせて70時間にも満たないのに、委員会で突然質疑を打ち切り、強行採決されたものである。この法律が施行されれば、場合によっては燕市の市民もこの法律違反に問われる危険性があるのではないかと危惧している。市長はこの特定秘密保護法とその決め方について、どのような認識を持っているのか。



本多了一 議員(日本共産党)

答 この法律に対して国民の方々が不安に思っていたり、疑問に思っていることは本多議員が例示されたことだろうと私も仄聞(そくわん)する。法律の審議過程を見ると私としては、もう少し国民に十分説明を行い、理解を得ながら議論を進めていく必要があったと思う。また、道路の補修や下水路の整備の要望が各地にある。当然実態を把握していると思うが、どのように対応されるのか。



アクセスした情報が...

市政に対する 一般質問

問 信濃川や中之口川に面し、大曲河川公園や大津公園、分水さくら公園もあるが、川の駅などの考えはあるか。

答 道の駅という駐車場やトイレがあり、情報提供できる施設や売店などが一体化しているもの。川の駅と位置つけたものではないが、中之口川には大曲公園や産業



燕市産業史料館

問 信濃川や中之口川に面し、大曲河川公園や大津公園、分水さくら公園もあるが、川の駅などの考えはあるか。

答 道の駅という駐車場やトイレがあり、情報提供できる施設や売店などが一体化しているもの。川の駅と位置つけたものではないが、中之口川には大曲公園や産業

問 新年度予算で、観光交流拠点として産業史料館や大曲河川公園などの周辺施設の有機的な連携を促進するとしているが、その地域の燕市の表玄関の方向性と、民間活力導入について、どう考えているのか。

答 県央大橋西詰め周辺は、利便性などからも磨けば光る地域。平成26年度に外部も交えた検討委員会で（仮称）県央大橋西詰周辺地域整備基本計画の検討に入る。観光交流拠点のあり方は、メガソーラー発電などの実績を踏まえ、民間活力導入も含めて総合的に検討する。河川公園などの資源を生かして、エリア全体の魅力アップを図りたい。



齋藤信行 議員(大河の会)

大曲河川公園の周辺「川の駅」について

史料館、下流には東町公園、大津分水には信濃川大河津資料館、可動堰などがあり、農産物の物販などで川とともに親しまれる交流の場に努めたい。

問 市に引きこもりの専門窓口は。

答 学校では、心の教育相談員などと連携して対応し、ほかには福祉課や健康づくり課などで受けている。

社会保障の観点で「国保運営」を

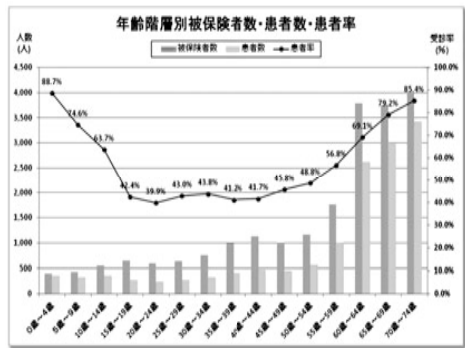


長井由喜雄 議員(日本共産党)

問 国保税は、平成26年度で1人当たり3020円引き上げられることになる。市がつくった「特定健康診査の第2期の実施計画」の資料では、国保に入る60～64歳は59%、65～69歳は66%、70～74歳は75%、4%を占め、60～74歳では53%、4%が国保加入だ。他の保険とは基本的に構成が違っている。市長はこれを見ずに「一般会計からの繰り入れはそぐわない」と言っているのではないのか。当局作成の資料でも「自営業者、農業者のみでなく、定年等で退職したサラ

答 国保の一般財源の繰り入れに関しては、私はこの燕市の将来の財政運営に禍根を残したくないという信念を持っている。そういうことも含めて4月に審判を仰ぐと言っている。

ペナルティーはブラックボックスで分からないが、減点もないが加点もされない。



国保加入の高齢者は53%、他の保険と年齢構成も所得も大きく違います

栗生津小、吉田北小の大規模改造事業は



土田 昇 議員(日本共産党)

問 ガス譲渡清算金は、旧市町固有の財産である。このガス譲渡清算金で、平成26年度・平成27年度で栗生津小3億円、吉田北小3億円の大規模改造事業が計画されているが、その内容について伺う。

答 平成26年度・平成27年度で実施する予定であったが、東日本大震災の発生により、大規模災害時の防災・減災対策のための公共施設耐震化の整備を緊急に実施する必要がある。その財源となる緊急防災・減災事業債を活用できる期間が限られていることと、新耐震基準を満たしている

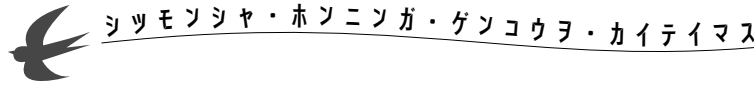


大規模改造事業

栗生津小と吉田北小の事業は、先送りさせていただいた。次年度の計画に反映する。

問 平成26年度末のガス譲渡の基金残高と今後の対応はどうなるのか伺う。

答 西太田保育園改造事業と平成25年度からの事業で吉田小学校改造事業に繰り入れをする。基金残高は、平成26年度末で8億8130万4000円、今後ガス基金を活用する事業は、栗生津小学校と吉田北小学校の改修事業となる。当該事業の実施後において、基金残高が生じる場合には、吉田地区の改修が必要な施設の整備などに充てることを検討していく。



アーケードが撤去され、広く明るくなった仲町・宮町商店街

商店街の活性化は今がチャンス！

問 小売商業商店街活性化助成制度等、公的支援制度が商店主等に十分に知られていない。商店主等に、公的助成制度を理解し活用してもらう取り組みが必要ではないか。

答 今後はこれまでの周知方法に加えて、商店街の代表者や商工会、商工会議所を通じ、より一層周知を図っていききたい。

問 商店主や地域住民、そして思いを持ったさまざまな方を巻き込み、地域に眠る資源や可能性に気づく取り組みと、それを結びつけ



小林由明 議員(旭日会)

る仕組みづくりを行い、地域の物語づくりによる商店街の活性化に取り組みないか。

答 その土地に根差したストーリーとして発信していけると思うので、商店街の皆さんなどに提案していきたい。

問 災害時の情報発信手段として、ツイッターやフェイスブックなどのSNSを活用すべきではないか。また平時においても、SNSを用いた活発な情報発信をしていただきたいが、いかがか。

答 現在ある「防災つばめ」の周知と登録の働きかけを行いつつ、SNSの活用方法について研究を重ねることが重要だと考えている。

市民に信頼される行政運営を

問 今後、交付税等が減らされる中、市民に信頼される行政運営をするために、最悪のシナリオを想定した財政計画を平成26年度に策定すべきではないか。

答 安定した財政運営の指針とするため、中長期的な財政見通しの作成を継続していきたい。長期的な財政見通しは難しいところもあるが、税制度・社会保障制度を基本に、総合計画・行政大綱・新年度に策定する公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、随時解決していきたい。



渡邊広宣 議員(鴻鵠クラブ)



研磨技術者の育成を図る磨き屋一番館

問 従来、経営安定化・医療・新商品に対して補助金を出してきたが、平成26年度の新基軸、目玉政策について伺う。

答 産地産業の持続的な発展を目指す上で、新しい基軸として事業展開を行いたい。具体的には後継者不足が懸念される産地保有技術の承継支援を目的とした「つばめ産業レガシープロジェクト」、新たな産地産業の創出や基盤技術の高度化を目的とした「つばめ未来産業プロジェクト」をはじめ、既存施策に加えて展開していきたい。

ギカイハ・ボウチョウ・デキマス

現場検証を行わない処置は適切か？

問 分水庁舎解体工事作業中の重油流出事故の詳しい報告が、議会にされていない。処理した汚水や入れかえた土の量、かかった費用は幾らだったのか。

答 処理した汚水は56トン、汚泥は107.6トンで、処理費用は139万75500円である。

問 事故発生が10月24日の午後で、市への報告は吸着マット・中和剤による応急処置が済んだ後のことである。設計監理者に連絡したが、留守とのことであるが、なぜ市に連絡できなかったのか。



穴の開いた重油タンク

答 安全対策が重要だと思った。翌25日に立ち会った人は。

答 三条市環境センター・消防署・防災課・生活環境課・営繕建築課と請負業者である。

問 ここにも設計監理者がいないのは何かおかしい。重油タンクの写真を見ると大きな穴が開いていて、ここから流出したということだが、内部の写真はあるのか。

答 その写真は撮られていない。

問 いろんな部署の人たちが立ち会っていて、なぜ撮らないのか。

答 写真がない点については、少し落ち度があったと思っている。

問 現場検証も行っていないが、作業中の事故の責任の所在について、市と業者の責任の割合は。

答 割合というよりも、請負業者には責任はないものと理解している。



タナカ・キン 議員(無所属)

新・旧庁舎のコスト比較



新庁舎（南側）

問 新・旧庁舎のコストの差は、どの程度か。

答 旧3庁舎の平成18年・19年の2カ年の平均は1億280万円である。それに対して新庁舎は、8520万円と試算していたが、電気料金等の値上げもあつて9473万円で、削減額は807万円と見積もっている。環境共生型庁舎の特徴を生かして、ランニングコストの削減に努めたい。

問 平成26年度当初予算では、老朽化した公共施設の改修に28億円



大原伊一 議員(旭日会)

程度の予算計上となったが、全ての公共施設のあり方を検証する時期に来ているのではないか。

答 平成26年度中に公共施設全体を把握して、財政状況・人口動態などを踏まえた見通しに基づき、施設の統廃合・更新・長寿命化を盛り込んだ公共施設等総合管理計画を策定する。議員ご指摘の公共施設の将来ビジョンである。

問 またしても行われる、猫の目農政改革、新たな農業・農村政策について伺う。

答 農地中間管理機構が行う基盤整備に伴う費用は、受け手が負担する。水田フル活用では、米粉用米は消費減による作付の減少、飼料米については、県が試験圃場で検証のため、一般栽培は行わない。

公共工事分離発注 市内業者の育成に



大岩 勉 議員(旭日会)

問 建築・設備・電気と分離発注が市内業者育成に対する方向であるが、行われているのか伺う。

答 市内業者を優先に入札を行っている。本年度は特に労働単価や建設資材等の高騰により、一括発注体制も出始めているが、これは特殊事情で、やむを得ないものと考えている。

問 学校教育指導で専門高校進学指導について伺う。工業高校・商業高校・看護師など専門校に進学希望の生徒数を伺う。

答 今年度市内の中学校3年生は734名である。そのうち工業高



「地域の安全は地域で守る」地域ボランティアの方々が登下校を見守ってくれています。(写真はイメージ)

校を希望している生徒が約50名、商業高校への希望が約30名、高等科の衛生看護科を希望している生徒が約10名である。

問 中学校の部活動は、地域・小学校と連携を持ち、各中学校に特色を持たせ、顧問も専門的指導に向けた努力を。

答 各学校においては、各学校の特色を生かしながら、部活動の取り組みを進めていく。

問 「スクールサポーター制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイプ役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと思う。各学校に制度の周知を図っていく。

『月刊広報』で つばめ市議会ノートブックが 紹介されました

もっと×2
身近な広報へ

“「変わる議会」を印象づける広報紙リニューアル”のタイトルで、全国の10市の議会だよりを紹介した「月刊広報3月号」。燕市の議会だよりも「スタイリッシュで目を引く紙面設計」との見出しで「相当の準備・検討期間を経て現在のスタイルにたどり着いたことをうかがわせる」「委員会の研修・視察や議会の情報公開、市民の声など、定例会以外の話題をイキイキと伝え、ラストページまで読者を飽きさせない」と紹介されました。

また、「定例会開催告知ポスター」（兵庫県・明石市議会）、「議会ののぼり旗を掲げて駅頭配布し「開かれた議会」をPR」（東京都・あきる野市議会）など、私たちの次なる目標となるものも紹介されていました。「燕市議会はまだまだ発展途上」を自覚して、多くの刺激の中で市民に近づいていきたいと思います。



ようこそ・燕市へ「全国の皆さん、ともに学びましょう！」

議会広報について ともに学ぶ

1月18日に茨城県結城市の『ゆうき市議会だより』を担当する議会情報推進委員会の皆さんが来燕され、議会だよりづくりについて、それぞれが抱える課題とお互いの取り組みに対して、意見交換をしました。

結城市議会はカセットテープ版の発行や、希望者への対面朗読を行うなど、その取り組みは燕市議会としても大きな刺激となりました。



燕市の委員全員が出席し、率直な意見交換を行いました



船橋委員長

結城市議会 船橋委員長にインタビュー
——今日はようこそお越しいただきました。結城市さんの議会だよりと比較しながら、率直な印象などをお聞かせください。

議会としては改革に向けて進めており、まず初めに広報紙を何とかしたいと考えていたところです。

ゆうき市議会だよりは「かたいイメージではなかったが、燕市議会だよりは柔らかさが出ていると感じました。よい研修ができたと思います。」



3月定例会の議決結果

◎は全会一致、○は賛成多数、△は継続審査、×は否決

番号	件名	審議結果	番号	件名	審議結果
当初予算	6 平成26年度一般会計予算	○	条例	18 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	◎
	7 平成26年度国民健康保険特別会計予算	○		19 市職員の給与に関する条例の一部改正	○
	8 平成26年度後期高齢者医療特別会計予算	○		20 定住自立圏の形成に係る議会の議決に関する条例の制定	◎
	9 平成26年度介護保険事業特別会計予算	○		21 手数料徴収条例の一部改正	◎
	10 平成26年度公共下水道事業特別会計予算	○		22 特別会計条例の一部改正	◎
	11 平成26年度土地取得特別会計予算	◎		23 都市公園条例の一部改正	◎
	12 平成26年度企業団地造成事業特別会計予算	◎		24 市営住宅条例の一部改正	◎
補正予算	13 平成26年度水道事業会計予算	○		25 市有吉田東栄町住宅条例の一部改正	◎
	15 平成25年度一般会計補正予算（第7号）	◎		26 奨学基金条例の一部改正	◎
	16 平成25年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	◎		27 子ども・子育て会議条例の制定	◎
	17 平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	◎		28 スポーツ推進審議会条例の一部改正	◎
	31 平成25年度一般会計補正予算（第8号）	○		29 市道路線の認定及び廃止	◎
	32 平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○		30 財産の取得の変更（西部学校給食センター厨房機器）	◎
	33 平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	その他	1 人権擁護委員候補者の推薦	◎
	34 平成25年度介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	◎		14 監査委員の選任	◎
	35 平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	◎		※ 網かけ()は賛否が分かれた議案等です。	
	36 平成25年度土地取得特別会計補正予算（第1号）	◎			
	37 平成25年度一般会計補正予算（第9号）	◎			
	38 平成26年度一般会計補正予算（第1号）	◎			

各議員の賛否

賛否が分かれた上表の網かけ()の議案等について、議員別に賛否を公表します。

議案番号等	議決結果	合 計			旭日会							鴻鵠クラブ				大河の会			日本共産党			公明党		無所属			
		賛成	反対	棄権	小林 由明	中山 眞二	大原 伊一	山崎 雅男	塙 豊	齋藤紀美江	中島 清一	大岩 勉	田村 善典	中條 征男	渡邊 広宣	齋藤 廣吉	丸山 吉朗	中島 義和	齋藤 信行	長井由喜雄	土田 昇	本多 了一	樋浦 恵美	渡邊 雄三	タナカ・キン	阿部 健二	田辺 博
6	可決	16	5	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	○
7	可決	16	5	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	○
8	可決	16	5	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	○
9	可決	16	5	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	○
10	可決	17	4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
13	可決	18	3	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
19	可決	16	5	0	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	—	○	○	○	●	●	●	○	○	●	○	○
31	可決	17	4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	○
32	可決	17	4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	○
33	可決	17	4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	○

※ ○は賛成、●は反対、棄は棄権、欠は欠席。なお、議長（齋藤廣吉）は採決には加わらない。

議会日誌

主な動きをお知らせします

1月29日	議会運営委員会・全員協議会・第1回臨時会・議員協議会
2月20日	全員協議会・第2回議員定数調査特別委員会
2月26日	議会運営委員会
2月27日	全員協議会・議員協議会
3月4日	議会報等特別委員会
3月6日	議会運営委員会
3月6・7・10・11・20日	本会議
3月12日	総務文教常任委員会
3月13日	市民厚生常任委員会・産業建設常任委員会
3月14・17・18日	予算審査特別委員会

3月20日	議会運営委員会・全員協議会
4月9日	議会報等特別委員会
4月14日	議会報等特別委員会

視察の受け入れ

2月4日	守山市議会「公共施設調査特別委員会」行政視察
2月5日	川口市議会事務局職員視察
2月12日	安来市議会「市庁舎等建設事業特別委員会」行政視察
3月6日	札幌市議会議員会派「自民党市民会議」行政視察
3月26日	日向市議会会派「市政会」行政視察
3月27日	会津若松市議会会派「自民クラブ」行政視察
4月8日	越前市議会会派「自由クラブ」行政視察



すべての子どもと家庭を支援します

燕市子ども・子育て会議条例の制定

◎全会一致で可決

平成 27 年 4 月からスタートする「子ども・子育て新制度」への対応に向けて、合議制の機関として設置する「子ども・子育て会議」に関する条例。

問 現在ある「次世代育成支援推進委員会」との違いは何か。

委員の選考について、どのように考えているのか。委嘱という同じ顔ぶれになりやすい。重複は避けるべきだが、どう考えているのか。

答 「次世代育成支援推進委員会」でつくったのは平成 27 年 3 月までの計画で、この「子ども・子育て会議」に関するものは平成 27 年 4 月から



子どもの豊かな放課後保障の審議もされる

新制度として動くもの。

メンバー構成は法律上規定されている。保護者・保育士・事業主・労働者・公募・大学の教授等、識見を有する者で、15 名程度。付属機関の委員の設置については、5 機関以内という指針がある。推薦願いを出すときに意向を伝えていきたい。

老朽化している市営住宅の取り壊しを進めます

燕市営住宅条例の一部改正

◎全会一致で可決

老朽化している市営住宅の取り壊しを進めているが、取り壊された住宅を取り除くための条例の改正。



空き地が広がった緑町市営住宅

問 緑町住宅団地の現状はどうか。今後どのように取り組んでいくのか。また、地震等の危険性はないのか。

答 順次取り壊しを進めているが、1 棟のうち 1 戸でも入居者がいれば取り壊すことができない。平屋建てであるため、地震の被害はあまりない。老朽化しているので注意深く見ていきたい。

新しい市議会議員をご紹介します

4 月 6 日に告示された市議会議員補欠選挙で、宮路敏裕さん(56 歳)が当選されました。



みやじ としひろ
宮路敏裕 議員(燕市東太田)

市民の声にしっかり耳を傾け、市民の代弁者としての責任を果たすため、全力を尽くします。

議員定数調査特別委員会から報告します

平成 25 年 12 月議会に設置された「議員定数調査特別委員会」は、人口 7 万人から 10 万人規模の全国自治体資料なども検討し、議員全員の意見を出し合いました。その結果、改選まで 8 カ月を過ぎた中で、早急に定数を減らすべきとの意見はありませんでした。

10 月に行われる一般選挙で選出される議員によって協議していくことになり、特別委員会は 3 月 20 日解散しました。

3 月定例会

議論は集中!



補正予算の主な質疑 平成 25 年度一般会計

平成 25 年度 補正総額

7 億 4,955 万 6,000 円 ◎賛成多数で可決

都市計画費

須頃郷排水対策事業 △3,800 万円

問 進捗状況と減額理由について。

答 工期延長につき、平成 26 年度に繰り越すための減額。
井土巻 3 丁目 9 号線(イオン側)延長 54m 650 トン
井土巻須頃線(ガソリンスタンド脇)延長 36m 600 トン
全事業の完了は平成 28 年度。完了後の対応雨量は 1 時間当たり 49.9 ミリとしている。



イオン側の排水対策工事

清掃費

燕・弥彦総合事務組合負担金

△2,768 万円

問 減額理由は何か。

答 事業費の経費節減と粗大ゴミシール販売や可燃ゴミ・不燃ゴミの受け入れ料金の増額、有価物(金属・紙・瓶)の販売金額の増などがあり、その分負担金が減額となった。



分別で資源収入となる

保健体育費

東部学校給食センター建設事業

△5,999 万円

問 減額理由は何か。

答 老朽化した施設の改修等が多いなど、市の建設計画全体の見直しをしている。その結果、翌年度以降に時期をスライドさせることによる減額。

農林水産業費

農地面的集積促進事業費補助金

1,100 万円

問 この補助金の対象は何か。

答 一般の農家の方々が対象。
農業をリタイアする人や経営を転換する人に対する「経営転換協力金」及び分散した農地の連担化に協力する農地の所有者への「分散錯圃解消協力金」の 2 種類がある。

補正予算の主な質疑 平成 26 年度一般会計

平成 26 年度 補正総額

3 億 3,297 万 6,000 円 ◎賛成多数で可決

観光費 観光推進費 1,250 万円

問 地域資源活用人材育成委託料について、内容と委託先は。人件費はどのくらいか。

答 燕市観光協会に委託し、県の緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用。
燕市の産業や観光全般の知識を習得。地場産品の販売や観光 PR ができる人材育成を行う。人件費は 3 人分で約 700 万円を見込んでいます。

議会が **もっと** / 近くなる

市民の声

これからも
農業を続けたい

廣瀬フジエさん (中島)

12 年前に主人を亡くし、孫の面倒を見ながら農業をしています。週末は若い者が手伝ってくれます。将来は野菜の販売等もしたいと思っていますが、農業を続けるには米価が

安定することが大事だと思います。

合併後、住民の声が市に届きにくくなったと感じますが、今まで付き合いのなかった地域の人たちとも知り合える農協婦人部の集い等で、さまざまな情報を得ることができるようになったので、よかったです。

農政関係の予算が
少ないのでは？

加藤達男さん (吉田本町)

議会報はときどき読む程度です。政治には関心がありますが、議会の傍聴には行ったことがありません。燕市の

予算には、農政関係のものが少ないと感じます。

春キュウリ農家として3代目になりますが、ビニールハウスや農機具の買い換え等で、かなりの費用がかかります。国や県の補助金等の情報をいち早く私たちに伝えてほしいし、市としても何らかの補助金や助成をお願いしたいと思っています。

農業への取り組みに
もっと力を入れて

山口 均さん (松橋)

一度行ったことのある議会傍聴は迫力がありましたが、市政に関する一般質問の中には、市政で取り上げる内容ではないと思うものがあるように感じます。

議会報については、議員の思いや考え方を長々と書くより、簡潔な Q & A 形式にしたほうが、私としては読みやすいと思います。

燕市の農業に対する取り組みについては、もっと力を入れてほしいと感じています。せめて他自治体並みの取り組みを期待します。

「これが燕」という
目玉品を

江村正樹さん (佐渡)

議会報は読んでいないし、傍聴に行ったこともありません。議会に対しては、それぞれの議員が自分の地域をよくしようという思いが強すぎると、市として全体のまとまりがなくなる気がします。

行政に対しては、市域が大きくなった分、声が伝わりにくい気がします。小さなことへの気づきを感じられない。お金をかけなくてもできることを、すぐにやってほしいです。

農業に対しては、農協との連携がない。農協と農業者と行政が一緒になって、農政を考える取り組みをしてほしいし、ホームページに関係団体のリンクを張ってほしい。少量農品（多品目）はよいが、「これが燕」という目玉品をつくるべきだと思います。

編集後記

▼ 17 ページでもご紹介したように、日本広報協会の「月刊広報 3 月号」に「つばめ市議会ノートブック」が紹介されました。私たちも見つけてビックリです。▼ 私たちが「読まれる議会報」にと、取り組んできたことが、少し報われたようで嬉しくなりました。

長井由喜雄

【議会報等特別委員会】

委員長：渡邊雄三 副委員長：齋藤紀美江

委員：小林由明 樋浦恵美 タナカ・キン 長井由喜雄 齋藤信行

QRコードから
議会のホーム
ページへ
アクセス

今号の表紙

鯉のぼりが元気に泳ぐ季節となりました。ツバメに引っ張られて、もっと高く高く舞い上がれ。

スマートフォンや
タブレット端末から
アクセスできます

